

# あがまち

## 議会だより



鮎 解 禁 (常浪川)

No.17  
2009.7

発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112  
新潟県東蒲原郡阿賀町津川580番地  
発行責任者：議長 遠藤信也

### 主な内容

議会構成決る	2P
6月定例会	3～4P
一般質問	5～15P
傍聴記・議会構成	16P

※再生紙を使用しています。

## 傍聴記



鹿瀬商工会女性部は  
6月23日にお昼の12時  
45分までに、阿賀町役場「本庁」にあつまり議場に入りました。

鹿瀬商工会 婦人部長

丹 藤 信 子

合併して4年目になりましたが、良くなつたとは思いません。人口減少の影響もあり、商店街の繁栄には程遠い状況です。でも議員さん達は阿賀町を、良くしようと思つて一生懸命です。

私達商工会女性部もがんばつて、また議会傍聴にゆきたいと思つています。

皆様も、ぜひ傍聴して下さい。そうすると町長さん議員さんも喜んで、歓迎して下さいます。午前中に傍聴にゆけば、わが会員の議員さんの質問も聞かれたのですが残念でした。

私達はともよかつたです。有りがとうございまして。



### 農業委員の議会推薦

- ◎高橋 渡
- 住所 八ツ田1549番地
- ◎塩野 慶子
- 住所 鹿瀬7809番地1
- ◎長谷川 元子
- 住所 両郷甲2147番地

### 請願

30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担率1/2の復元をはじめとする教育予算の充実に求める意見書(採択)

### 一部事務組合等の 議会議員の選任

- ◎さくら福祉保健事務組合 齋藤 秀雄
- ◎新潟県中東福祉事務組合 入倉 政盛
- ◎五泉地域衛生施設組合 佐藤 郁夫
- ◎新潟県後期高齢者医療広域連合会 宮川 弘懿
- ◎阿賀町監査委員 山口 周一
- 佐久間 勇夫

### 議会構成

議長	長 遠藤 信也
副議長	長 五十嵐 隆
●総務文書管理委員長	石川 太一
●副委員長	宮川 弘懿
●委員	波田野 哲夫
●委員	神田 八郎
●委員	猪俣 誠一
●委員	小池 隆晴
●社会厚生常任委員長	齋藤 秀雄
●副委員長	石田 守家
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●産業建設常任委員長	伊藤 武一
●副委員長	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●議会運営委員長	猪俣 誠一
●副委員長	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫
●委員	佐藤 郁夫
●委員	清田 輝子
●委員	猪俣 誠一
●委員	山口 周一
●委員	石川 太一
●委員	高橋 渡
●委員	五十嵐 隆
●委員	伊藤 武一
●委員	齋藤 秀雄
●委員	五十嵐 隆
●委員	星 公司
●委員	山口 周一
●委員	入倉 政盛
●委員	伊藤 武一
●委員	渡部 英夫
●委員	宮澤 勝見
●委員	高橋 渡
●委員	佐久間 勇夫



# 報告 (財務諸表)

- 奥阿賀観光株式会社  
当期純損失 1306万5015円
- 株式会社上川温泉  
当期純利益 243万1916円
- 株式会社阿賀の里  
当期純損失 3432万8872円
- 株式会社キャニオンパーク  
新谷  
当期純損失 52万5618円
- 財団法人上川農業振興公社  
当期収支 137万8376円
- 財団法人三川農業振興公社  
当期収支(ガス会計+一般会計、受委託) 253万7632円
- 財団法人上川農業振興公社  
当期収支 1239万2984円

## 事業所に対し、情報ネットワークの取組み状況は



山口周一 議員



ネットワーク

一般町民には、情報ネットワークの説明を積極的におこない十分に周知されていると思いますが、事業所に対しての取組みは、商工会に丸投げ状態で、町が積極的に取り組んでいるように見えません。

年々消防団員が減ってきている中、昼火事などの場合、地元の消防団員は仕事のため何人もおらず、最も大事な初期消火に支障をきたすはずで

### 昼火事など 緊急時の対応を

質問

一般町民には、情報ネットワークの説明を積極的におこない十分に周知されていると思いますが、事業所に対しての取組みは、商工会に丸投げ状態で、町が積極的に取り組んでいるように見えません。

火災などの初期消火時、事業所の皆さんが担う役割の大きさは十分認識しております。町の告知サービスは、防災無線、オフトークにかわり、各世帯に町の情報伝達を主たる目的とし、起債の財源充たが、事業所に認められないため、事業所の皆さんには、経費負担をお願いし、周知を図ってきたところです。

各商工会、町の広報、ホームページを通じて促進しますが、今現在申し込みは3事業所です。

### 防災の観点から 加入促進を

事業所の加入申し込みが、今現在3事業所というところでありますが、非常に厳しい限りであります。

5年先、10年先のことを考えると、消防団員も減っていくわけですので、町民の安心安全を考えると、事業所も無料でもいいかなと思っております。

告知端末と、フレッツ光の勧誘の勢いのかかり方が全く違っているのが事実です。防災の面から、事業所の告知端末加入促進を頑張してほしい。三川消防OB会の保険などはどうなっているか、他地区

### 事業所の加入申し込み 今ところ3事業所



防犯

加入が増えれば、町の収入につながるわけですので、これから先、システムの維持管理に寄与できますし、フレッツ光、告知端末を合せもつと丁寧に営業努力を進めたいと思っております。

消防OB会の保険ですが、危険もともなうので入っていただきますし、三川だけでなく、町全域で組織していただきたい。マグネット看板については町で行っている部分、OB会のように会費で賄っている部分、また防犯で警察の指定を受けてる部分を十分調査し、全町に行き渡るよう取組みをしたい。

### フレッツ光の加入増は 町の収入につながる

町長

Bフレッツの関係ですが、商工会も促進してありますが、NTTからも直接営業に来ています。

## 請負契約の締結

- 町道蟬ヶ平線3工区第5期工事  
契約金額 3億4965万円  
契約相手 株巴山組
- ・総合評価方式に基づき落札
- 津川小学校校舎棟耐震補強及び大規模改修工事(建築)  
契約金額 2億6649万円  
契約相手 株福田組阿賀東蒲営業所
- ・参加8社の内7社が低入調査基準を割った。失格6社の直工費が、85%を大きく割る60〜70%であり設計を含め、反対討論があったが賛成多数で可決された。(総合評価)
- 津川小学校校舎棟耐震補強及び大規模改修工事(機械設備)  
契約金額 6909万円  
契約相手 安田設備工業(株)東蒲出張所
- 上条小学校屋内体育館耐震補強及び大規模改修工事(建築)  
契約金額 6343万8900円  
契約相手 株福田組阿賀東蒲営業所
- ・総合評価方式に基づく落札
- 白崎地区汚水処理場機能強化対策工事  
契約金額 9345万円  
契約相手 昱工業(株)

## 委員会報告

### 総務・文教

委員長 石川太一

閉会中の所管事務調査を、左記により、実施しました。

調査日 平成21年6月15日(月)

#### 調査事項

- 津川小学校耐震補強及び大規模改修工事について。
- 上条小学校屋内体育館耐震補強及び大規模改修工事について。
- 町内各小学校の現状について調査概要
- 津川小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事は一部二期期に持ち込まれるので、児童の安全と事故がないよう十分な対策を望む。
- 現地確認したところ腐食や劣化が目についたので、よく点検して不具合がある箇所はこの際全面改修を望む。
- 津川小学校の電気工事の入札を速やかに行うこと。
- 町内各小学校の現状とその取り組みについては、地域に溶け込んだ独自の教育目標を掲



上条小学校(耐震補強)

実践している様子が分った。来年3月閉校の七名・三宝分の両小学校では思い出作りと統合に向けての準備に力を注ぎ、上条小学校との交流会をしているとのことでした。

#### まとめ

上条・津川両小学校の耐震補強工事及び大規模改修工事については、工事の安全はもとより騒音等にも気配りをして、地域住民の理解の上で着工されることを望みます。

町内各小学校の校長先生とはこれからも意見交換を実施していくことで一致しました。

山間僻地の現場で頑張っている先生方に感謝し、まとめとします。



# 室谷区 公の施設等の管理を問う。 新斎場と中央南部簡水の進捗状況について。

石田守家 議員

## 新斎場建設計画の完成 期と中央南部(栃堀区) の進捗について

現在の公の施設管理状況をどう認識されているのか、阿賀の里への多額な資金投入も議論される今日、管理監督の充実を求めますが神田町長の見解をお尋ね致します。

また、旧室谷児童館も施設の確認すらしているのか疑問です。併せて答弁をお願いします。次に、かやぶきの里管理運営について、平成19年度は区が作業委託等で終始し、昨年からは指定管理者制度への移行となりました。

①旧神谷分校は現在学校財産として対応されています。膨大な建設費を投じた建物閉校後の利活用と将来的構想が示されず日々が重なる現状です。改めて今後の維持管理予定の説明を求めます。

### 質問

**旧神谷分校の利活用  
かやぶきの里管理  
運営状況の認識は。**



旧神谷分校



かやぶきの里

②新斎場建設の進捗状況と完成予定の期日について、早期完成は申し上げるまでもございません。

### 質問

③栃堀区内中央南部の簡易水道事業の進捗は、給水入口が多い施設、以前から取水口が問題となつています。水源の安定については、河床低下された河川整備が不可と考えますが答弁を求めます。

①旧神谷分校は平成19年4月本校へ統合、閉校後の管理は学校教育課。活用方法の具体的方向は示せず現在に至っています。今日の経済情勢、町内外からの施設利用を模索しているが、今後の大きな課題である。

### 町長

**旧神谷分校  
施設利用を模索**

また、旧室谷児童館は町民生活課所管。状況確認は皆無とのこと指摘ですが、定期的まできたい。かやぶきの里管理物件は公的施設、今後管理運営が良好に行なわれるよう、適宜管理運営状況の報告等をうけ指導助言して参りたい。地域の意欲もあると思う。その辺と兼ね合わせ今後対応する必要があると思ひます。

②新斎場は11月頃の完成予定だったが本年度末まで完了したい。  
③南部簡水事業は平成18年から22年まで。今年度末で99%の進捗状況、河川整備については引き続き県に要望して参りたい考えです。



# 日出谷地域 医療の対策を

清田輝子 議員

## 新たな開設は困難

### 町長

日出谷地域の医療対策をお聞き致します。渡部医院が閉院されて半年が過ぎました。その間福祉バスが町の診療所等に運行されています。今まで手押車を押しながらの通院でしたが、高齢化でバスに乗っての通院も精いっぱいです。以前より地域に、診療所からの診察をお願いしています。その後の答弁をいただいておりますので伺います。

①旧神谷分校は現在学校財産として対応されています。膨大な建設費を投じた建物閉校後の利活用と将来的構想が示されず日々が重なる現状です。改めて今後の維持管理予定の説明を求めます。

日出谷地域に新たな医療機関を開設して取り組むことは非常に難しいわけであり。まず、医師不足であるということ。限られた医師、医療スタッフによって、今後いかにして、安定的に医療体



鹿瀬(角神)の景観

う計画をして行きたいという事です。まだ概要段階であります。耐震については、四カ所ほどの補強工事が必要という調査結果になりました。今後精査した後、皆様と協議して行かなければならないことです。

制が確保できるようになるかということ。診療所の先生県立病院等の役割分担を工夫しながら、通院手段、福祉バス等の運行を維持して、高齢化などで通院の負担が大きい僻地を含めて、巡回診療、つまり、場所を定めて、そこで診療を行うということ。あるいは、さらに困難な方については訪問診療での対応を行っている。今後、その辺もあわ

②新斎場建設の進捗状況と完成予定の期日について、早期完成は申し上げるまでもございません。

①旧神谷分校は平成19年4月本校へ統合、閉校後の管理は学校教育課。活用方法の具体的方向は示せず現在に至っています。今日の経済情勢、町内外からの施設利用を模索しているが、今後の大きな課題である。

②新斎場は11月頃の完成予定だったが本年度末まで完了したい。  
③南部簡水事業は平成18年から22年まで。今年度末で99%の進捗状況、河川整備については引き続き県に要望して参りたい考えです。

## 中学校跡地利用は

### 質問

旧鹿瀬中学校の跡地は今後どのように転用するのか調査結果をお聞き致します。

## 精査後協議

### 町長

以前にもお話ししています。消防署に転用したいという計画をして行きたいという事です。まだ概要段階であります。耐震については、四カ所ほどの補強工事が必要という調査結果になりました。今後精査した後、皆様と協議して行かなければならないことです。

### 質問

当町の角神は観光地として誇れるところです。ただ、展望台からの眺めを周辺木々が雑林となり景観をさえぎります。整備計画はあるのでしょいか伺います。

### 町長

角神地域における景観は非常にいいということは自他とも認められることです。木々の伐採については、所有者、また、保安林指定でもあるので、その辺も今後の課題となります。角神地域の素晴らしい自然景観と各種の観光施設と結びつけ、町の各所を名実ともにしていくべきであると思っております。

今、まちづくり交付金事業を利用いたしまして、動きだし申請したところであり。事業化されることになった時は、その結果をもって皆様にご説明、ご報告を申し上げます。ことにしたいと思います。

# 平成合併を問う！

小池隆晴 議員

**質問** 平成17年4月の合併から5年目を迎える阿賀町。合併後の経緯について3点ほど質問します。

1点目は医療サービス、介護福祉サービス、職員接客等の行政サービスについて、2点目は広域的視点に立ったまちづくり地域格差はないか。3点目は財政強化と行政サービスは両立するのか。

**町長** 地域医療の体制の充実を図るため診療所、訪問看護ステーションを開設、介護福祉の分野では地域包括支援センターを開設、湯ったりカードの交付、子供医療の助成措置の拡充、また保育料の完全無料化も実現したところであります。窓口サービスとしての改善としては本庁に総合窓口を開設し、また町民生活課内に多重債務の相談窓口も開設、一階でほぼ用が足せるようというところでワンストップフロアの開設をしたところであります。2点目は合併により町民が混乱するような変

化が生じないよう同じサービスの水準の実現に向けた施策教育環境の向上を図るための小中学校整備、地域の特色が出ることも配慮した町政運営に努め生活に密着した事業実施を行ってまいります。

3点目は昨年6月行政改革大綱の理念を踏まえた財政運営適正化プランを策定しました。財政の健全化、真の行政改革の第一義は、行政サービスのさらなる向上であると確信してございます。

**質問** これからは、畑のいろいろな作物の収穫が期待されますが、収穫を前にして、どこでも、猿の話題で大変です。一般の高齢者にとつては、元気の源である畑づくり。今までのご苦労は聞いていますが、その後の対策についてお願いします。

**町長** 甚大な被害が生じており、甚大なるものにはございません。しかしこれに対する特効薬になるものはありません。

**質問** 町としては猟友会と有害鳥獣捕獲業務委託契約を結び捕獲対策を行っています。今年度から2名を雇用し、一日置きにパトロールを行っています。また、猿ネット購入に際しては2分の1の助成を行っています。また、今年度は新たに激辛ネットの助成にも取り組んでいます。

**町長** 現在は少子化、高齢化社会の時代です。安心して出産ができる、安心して子供を育てることができる環境が大切だと思いますが、田舎の小さい会社に勤める人などは土曜日も働かなければなりません。保育園の土曜日の午後の休日をどのように考え、また、午前の子供さんの引き取り時間が11時と聞きます。中途半端な時間に思われますが、いかがなものでしょうか。またこのような問題にアンケートの聞き取りがあったと聞きます。これについて伺います。



猿よけ防護柵

**町長** 現在庁内7施設で、第1、第3、そして第5土曜日の午前中に限り、保育を実施しているところであり、現在家庭の日と位置づけております。第2、第4土曜日、さらには日曜日、そして祝日を含めた休日保育についても、少数ではありますが、要望があったことも事実です。共働き家庭の増加と核家族化の進行そして女性の社会進出等にかんがみ、今後も懇談会などを通じて、保護者の皆さんが求めるニーズの把握に努め、児童福祉の向上に努めてまいります。

## 猿退治対策を！

## 保育園、土曜午後も開園を！

# ○消防署の移転について ○町の観光開発について

佐藤郁夫 議員

**質問** 旧鹿瀬中学校に移転することになっているがどのようなかたちで進んでいるのか。

**町長** 移転ということではなく廃校となった旧鹿瀬中学校を消防署に転用したいということであります。まだはっきりした期日を決めた訳ではありません。まず構想を作り、それに沿って改造計画を立て皆様と協議しながら進めていきたいと思っております。

耐震関連につきましてはほぼ完了しました。その他色々ある訳ですが、それらを精査し、はっきりした計画を皆様にお示しし、協議して同意を得たいと思っております。その上でできるだけ早く準備したいと考えております。



現在の消防署



旧鹿瀬中学校

**町の観光開発について**

**質問** 町には色々な観光地があるが特別目玉となる大規模なものがない、しかし町にはまた多くの観光資源が眠っている。その一つに飯豊山実川口の開発である。

一、湯の島小屋まで観光バスを乗入れる、そして湯の島小屋近辺に遊歩道を造り散歩や森林浴を、多くの人に楽しんでもらう。

二、飯豊山を源とする実川の峻険な渓谷美を全国的に発信する。

**町長** 町の観光開発については壮大な計画と思う。飯豊山は磐梯朝日国立公園に指定され、その自然景観は言うまでもない、秋の紅葉時の実川の渓谷美は筆舌に尽くしがたいものがある。しかし一番のネックになるものは道路である。崩落・転落などの危険箇所がかなりある。また湯の島小屋近辺は第三種特別

保護地域に指定されている。開発には厳しい規制がある。北アルプス、南アルプスも長い歴史の中での積みかさねが現在のようになってきている。我々もこれが終りと思っていない、道路が悪ければ整備も必要です。飯豊山という隠れた地味な場所をもっと発信力もって売り出さなければならぬと思っております。

観光担当者も同じ思いであります。

**要望** 長野県や山梨県はさまざまな障害を乗り越えてあのような開かれた観光施設的なものがつくられています。規制があるからだめなんだと諦めずにそれを乗り越えていってほしいと思います。

最後にお願ひですが実川集落から1kmほど行った所で営林署のゲートがあります。錠が掛っておりますのでその先は行けません。それだけでも取払って下さい。村松営林署でだめなら、前橋営林局へ向ういてでも、通行できるようにしていただきたいと思います。

## いつ頃をめどに移転するのか

## 町の観光開発について



# 町政を質す

宮川 弘 懿 議員



ペレットボイラー(上条小)

**町長** 前期基本計画を検証しながら、農林業の振興、町の特性

## 財政計画と 整合性を図る

**質問** 平成22年から5年間の基本計画策定の時期かと思えます。合併の優遇措置も残すところ5年となりました。今後の町政のビジョンについて、御所見をお伺いいたします。

## (1)町政運営の ビジョンは

**質問** 平成22年から5年間の基本計画策定の時期かと思えます。合併の優遇措置も残すところ5年となりました。今後の町政のビジョンについて、御所見をお伺いいたします。

**町長** バイオマス構想は、今取り組みをしております。農学部との先生もいつでも呼んで下さいという方もおりますので、これから考えていきます。CO<sub>2</sub>の売買ですが、丸紅商事と話を進めております。

**町長** 新潟大学との連携によって耕作放棄地の活用方法、特産物の創出、学生ボランティアの活動の利用とか、間伐を100%国の補助金で賄って、間伐材でペレットを作り循環型のバイオタウン構想をつくるのができないでしょうか。

## 一歩踏み出せ

**質問** 新潟大学との連携によって耕作放棄地の活用方法、特産物の創出、学生ボランティアの活動の利用とか、間伐を100%国の補助金で賄って、間伐材でペレットを作り循環型のバイオタウン構想をつくるのができないでしょうか。

を生かしたその他の産業の振興と保健・医療・教育等各分野において、町の方向性を定まらなければなりません。合併の特例措置も将来負担を十分見通して、町民生活に密接な施策、町の将来に必要な施策を確実に盛り込んでいきたい。

**町長** 供用開始後の運営についてはその収入は、テレビ加入による使用料とNTTへの伝送路

## 年間1000万円の 一般財源が必要

**町長** このシステムが、来年度から実施されます。維持管理上財政負担が少なくなるため加入率向上の促進上の問題とその展望についての御所見をお伺いいたします。

## (2)情報ネットワーク の加入率

**質問** このシステムが、来年度から実施されます。維持管理上財政負担が少なくなるため加入率向上の促進上の問題とその展望についての御所見をお伺いいたします。



告知端末器

## (3)たしがしら湿原 の位置づけ

**質問** たしがしら湿原は、景観もすばらしく、わが町を象徴する代表的な資源です。わが町にとって、どのような位置づけをされていますか。

**町長** 自然豊かな阿賀町、上川の誘客拠点施設として内外に積極的にPRを図るとともに、施設の特性を生かした取り組みを推進し、他施設とともに相乗効果を発揮し、誘客の向上に努めてまいります。

# 水道料の値上げは 住民の理解を得て！



猪俣 誠 一 議員

**質問** 5月の全員協議会において上水道料金改定の説明を受けた。今後の整備も含め、事業に伴う償還等の増加が想定される。経営が成り立たなくなるので値上げをしたい。改定は2年ごとに行い、基本料金と超過料金共に10%増との説明であり、水道事業運営協議会も止むを得ないとの説明であった。水は生活の根幹を成すものであり、生命の源である。今日のよう地域経済が疲弊している時に住民生活に直接影響を及ぼす唐突な上水の値上げは行うべきではない。



浄水場(津川地内)

## 上水は独立採算 が基本

**町長** 地方公営企業法の適用を受ける上水道事業は、企業の経済性の概念から独立採算を基本として経営を行っている。合併協議会における料金統一を踏まえ、料金改正の内容については運営協議会で検討し、各区長さんや町民の方々に丁寧に周知を図りながら勧めてゆく。

## 火葬炉選定なぜ プロポーサル

**質問** 火葬炉の選定に当たって、審査員に職見者や、第3者が入っており、命令系統がはっきりしている町管理職が当たっており、公正さには疑問を感じる。建設コスト・維持管理コストの高い事業者がコスト低減化の考え方で、他を圧倒的に抑え高得点であった理由は何か。また、造成事業が遅れたが、事業体の問題があるとは思われない。火葬炉の選定が影響することはなかったのか。

## 炉の特性と技術力

**町長** 機種の特性、業者の技術力さらに、町の意向が反映されることからプロポーサルがより適切として採用した。審査員は規定により主管課外の職員から任命した。監視委員会から「評価基準の事前・事後公表により公平性は損なわれないが、第3者を入れることがよりベター」との指摘があった。また、造成工事の遅延は、想定以上に地盤が軟弱な事など、さまざまな要因が重なったためである。



さい場建設地(鹿瀬地内)



# 高齢化集落実態調査を今後行政にどう活かしていくのか？

渡部 英夫 議員



高齢化集落実態調査報告書

はちよつと職員がいた言があつたら指摘されるような発言があつた職員がいたというこ

**【質問】** 役場職員が高齢化している集落へ出向き集落の実態や課題、住民要望等を二カ年にわたり調査し結果を報告書にまとめられました。この報告書は高齢化集落の実態を実に良くとらえていると思えます。担当した職員のご苦労にお礼を申し上げたい気持ちとともに深い感銘を受けました。そのような職員がいた反面、この調査の必要性がわからない。時間と労力と金の無駄と切り捨てている職員もいる。真摯に対応して頂いた地元の方々に失礼の極みと考えます。調査の意義を十分理解させな

いまま送り出した当局側にも問題があると思えますので猛省を促したい。また職員の研修等で町の過疎克服に向けての意義を再教育願いたい。大切なことはこの調査結果を地域再生に向け今後の行政にどう活かしていく方針か伺います。

## 地域の实情に応じた支援を行っていく

**【町長】**

高齢化が進んだ小規模集落の住民が平生どのような気持ちで生活し、困難をきたしているか等の実態をより具体的に把握すること、職員がその実態を知ることが必要である。要との認識で実施したものであるが、議員から指摘されるような発言があつた職員がいたというこ

## 山菜を活用した地域起こしを

**【質問】**

近年、山菜が自然食品とか健康食品として市民権を得た感があります。既に言い古されたことと思いますが、町の森林資源の一つでもある山菜を活用した地域おこしに取り組んでは如何か。昨年研修で訪れた魚沼市ではユリ、タラノ芽、ウルイ、ウド等の栽培が盛んで活気ある農業を展開中であります。最近、国は耕作放棄地再生利用のための

**【町長】**

国は今頃耕作放棄地の調査に入ってくる。今更という感じだ。耕作放棄地を復元してイターン・Uターンの方にそこに住んで頂ければ幸いであるが、高齢化の中でもとやめたものを復元し、あとまた高齢化してせつかくのものをまたやめてしまうようでは元の木阿弥だ。国や県の追従ばかりが町政ではないと思つている。私どもに合ったやり方をやっていく必要がある。いろいろな情報を参考にさせてもらって勉強させて頂きたい。

## 国県の追従ばかりが町政ではない

信じられない気持ちです。懇談で出された課題に関しては速やかに実施する姿勢で、調査を担当した職員と所管課で検討し結果を区長さんに回答している。例としては福祉パスのこの4月から意見を反映させた運行も一部行なっている。また小型除雪機械購入も補正対応で予算計上したところであります。引き続き町民の皆様のご意見に真摯に耳を傾け地域の考えを尊重した支援を行なつて参ります。

支援として、耕作放棄地再生利用交付金制度を創設したと聞いております。この制度に町も交付金を更に上積みし、耕作放棄地再生を図り換金作物としての山菜栽培を推奨しては如何か、耕作放棄地再生を進め、山菜栽培による地域おこしを町の活性化策として真剣にお考え頂きたい。



# 「就職活動」「結婚活動」に積極的な支援を

五十嵐 隆朗 議員

**【質問】** 近年、若者をめぐる雇用環境は、全国的に非常に厳しい状況であります。町においては皆無に近い、その中で多くを望んではいないが、阿賀町で住みたいという希望を持っている人がいます。そこで、働くだけでなく、自立も含めて、地域社会や行政、企業などの多様な協働により支援できないものか。

## 町内事業所の雇用は大変厳しい

**【町長】**

有効求人倍率はハローワーク新津管内では4月末の倍率は0・35倍でありますから県全体でも0・46倍、全国も0・48倍と比べても、大きく下回っています。町の状況下の中では、昨年あたりからパートを中心に正規社員の解雇が発生しています。このままではいけないわけでハローワークとただ情報交換ばかりではなく、国・県が求人対応窓口を作つて対応するので連携して進めていきます。

## 後継者の紹介

**【質問】**

若者に限らず、仕事が見つからない人に、後継者がいない困っているような職業の方を、条件が合うのであれば紹介するなど、地域からのアプローチがないか探すのも、行政の仕事ではないでしょうか。

**【町長】**

その直系の人でなくてもやってみようという方がいれば支援するという体制もあつていいのかと、今思つています。就農も選択肢として研究してみたい。



工業団地(津川地区)

## 「結婚活動」の支援を

**【質問】**

結婚したくても、なかなか相手が見つからない。仕事がないので結婚もできない。このようなお話をよく耳にします。晩婚化、未婚化が進む中で、独身男女に出会いの場や話を提供し、結婚を町が積極的に支援ができないか。

## 平成19年度男女全体の未婚率全体で28%

**【町長】**

男性に関しては、20代〜50代全体で1,149人37%と非常に高い率で結婚していない方がおります。本町で受理する婚姻届は、年間で40件程度という状況であります。出会いの場の提供や結婚相談員の設置をもう一度見直し、他の町村の取り組み状況なども勉強して、新たな取り組みをしていく必要があるのかと思つていきます。

## 人口増対策の効果。地域の活性化にも効果が

## 町独自の施策を

**【再質問】**

大きな問題でありますので町独自に政策支援をしていただきたい。

**【町長】**

相談的な、仲人的な方を設定して取り組みなど、どの部署がどこでやればいいのか検討してみたいと思います。町で生活していただくために何ができるのか、もう一度改めて取り組み、仕切り直したいと思つていきます。

**【要望】**

「町が活力を保つために、高齢者の活用とともに若者が町で活躍出来る環境作りを全力を尽くしてください。」





# 子供からお年よりまで 安心してくらせる町に

入 倉 政 盛 議員

**質問** 通院・入院とも平成18年度対象子供数は553人、受診総数7,192人です。それが平成20年度になりますと対象子供数1,125人受診数が13,581人と倍加して

をとりえていきたい。この取組を前向きに考えていく必要があると言う認識を持っており

**町長** 平成19年10月から小学校6年生まで、助成範囲を拡大したばかりです。町の子供医療助成は現状では先進的な位置にあると思っています。

**質問** 政府による社会保障抑制策の下、子育て中の親の負担は限界を超えている状況です。将来を担う子供たちが健康で、安心して暮らせるために医療費の心配なく病院にかかれるように、町の助成事業を中学まで拡充すべきではないか。

**町長** 潜在的に助成を受けたいという希望者がいることが考えられます。医療費助成も今の社会状況などを考えると早急に中学卒業まで拡充するよう努力してほしい。

**質問** 平成17年4月1日、阿賀町要保護・準要保護児童生徒援助費支給要綱を制定しており今後とも、国や他市町村の動向、社会状況の実態把握に務めながら、支援に努めたいと考えています。

**町長** 現在の助成を受けている方、これから受けられる方にたいして町独自に補助項目を増やしたり、支給額を補助額に上乘せする考えはありますか。

**町長** 子供のためならお金は惜しくない、ただ景気が深刻な状況、児童・生徒のおられる家庭で教育費にも困っている方が増えているように思います。

**質問** 町民のみなさんから「商品券が欲しかったのに買えなかった」と言う声が多く聞きました。商品券は町の活性化に良いと思いますが税金を使っていますので、町民の皆さんに公平に行き渡るようにお願いしたい。

**町長** 今回の発行の反省をふまえながら、より多くの方々にご利用出来るよう商工振興協議会との連携を密にして、もう一回分秋口に向けて実行していただくように振興協議会と話を詰めていきたいと思っています。

**再質問** プレミアム商品券について別の観点から質問します。「経済危機対策交付金」のうち町への配分額は7億584万2000円ですが、町の交付金事業一覧表ではハード事業と購買事業に重点が置かれてるように思われます。ソフト事業では商品券がありますが、内閣府から350の活用事例集でソフト事業も紹

**町長** 県下でも6番目くらいの交付金が出ており、地域からの要望も多く受けておりこの機会でないかと答えられなかったので、2次補正と今回の補正で取り組みをした。私もソフト面がこれから一番大事であると思っていますので、その辺は重要課題として取り組みをしたい。

**町長** 介されています。例えば、準要保護児童生徒への就学援助幼稚園就園負担軽減助成の拡充、高齢者配食サービス事業地元産米の交付券支給などへの助成などがあげられています。

**町長** 町有財産の有効利用を協議検討していく中で提案していきます。



きれいな花でいっぱい



# 阿賀の里経営と 建設、福祉について！

齋 藤 秀 雄 議員

**質問** 旧経営陣に経営責任を求めないのか。今は阿賀町が株主です、経営責任を追及する必要があると思いますが考えを伺います。銀行債務交渉の現状を伺います。

**町長** 資金管理等を含め三年の業務委託契約で経営改善を進めていきます。今は報告を密にして支所長で対応するようにしています。今後は適正な人材を捜していきたい。

**再質問** 減価償却費5億円を計上し

**町長** 旧経営陣は行政に迷惑をかけるという約束でありましたので退任頂きました。責任追及は今後専門家と相談していかなければと思っています。

**再質問** 銀行債務交渉は、早急に処理すべき課題ですが現状は北越銀行からは回答が得られていません、今しばらく猶予をお願いします。

**町長** 旧経営陣は行政に迷惑をかけるという約束でありましたので退任頂きました。責任追及は今後専門家と相談していかなければと思っています。



阿賀の里(三川地内)

**町長** 旧経営陣は行政に迷惑をかけるという約束でありましたので退任頂きました。責任追及は今後専門家と相談していかなければと思っています。

**再質問** 銀行債務交渉は、早急に処理すべき課題ですが現状は北越銀行からは回答が得られていません、今しばらく猶予をお願いします。

**町長** 旧経営陣は行政に迷惑をかけるという約束でありましたので退任頂きました。責任追及は今後専門家と相談していかなければと思っています。

**町長** 旧経営陣は行政に迷惑をかけるという約束でありましたので退任頂きました。責任追及は今後専門家と相談していかなければと思っています。

**町長** 防災・福祉道路として整備計画をしていくことにしたい。津川地区のだんの山道路は6

**町長** 上川七堀裏の改良計画や津川西大坂地区の道路・河川の改修を介護福祉策等から、早急に対応はできないのか伺います。

**町長** 経理上問題は、減価償却を計上していきように経営改革を進めていくことを望んでいきます。職員にも意識をもって経営管理させていきます。

**町長** 経理上問題は、減価償却を計上していきように経営改革を進めていくことを望んでいきます。職員にも意識をもって経営管理させていきます。

**町長** 経理上問題は、減価償却を計上していきように経営改革を進めていくことを望んでいきます。職員にも意識をもって経営管理させていきます。

**町長** 経理上問題は、減価償却を計上していきように経営改革を進めていくことを望んでいきます。職員にも意識をもって経営管理させていきます。

**町長** 経理上問題は、減価償却を計上していきように経営改革を進めていくことを望んでいきます。職員にも意識をもって経営管理させていきます。

**町長** 経理上問題は、減価償却を計上していきように経営改革を進めていくことを望んでいきます。職員にも意識をもって経営管理させていきます。

**町長** 経理上問題は、減価償却を計上していきように経営改革を進めていくことを望んでいきます。職員にも意識をもって経営管理させていきます。

**町長** 経理上問題は、減価償却を計上していきように経営改革を進めていくことを望んでいきます。職員にも意識をもって経営管理させていきます。

**町長** 経理上問題は、減価償却を計上していきように経営改革を進めていくことを望んでいきます。職員にも意識をもって経営管理させていきます。

**町長** 経理上問題は、減価償却を計上していきように経営改革を進めていくことを望んでいきます。職員にも意識をもって経営管理させていきます。